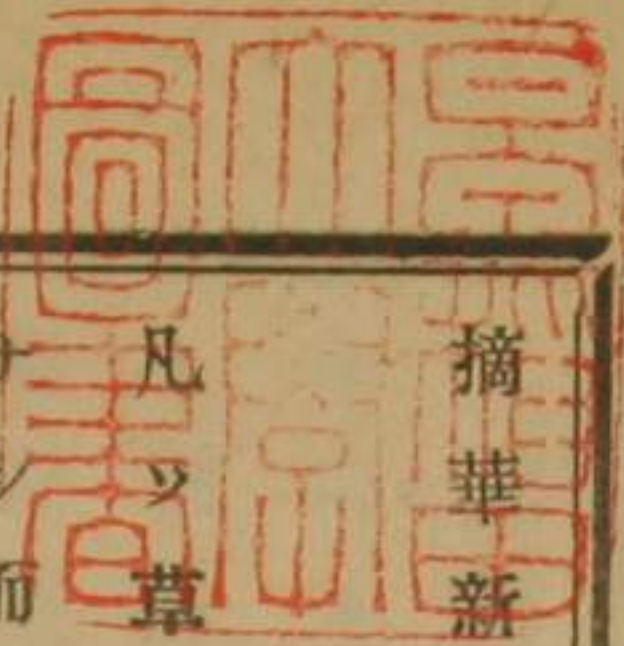


文庫8  
C501 (1)

摘華新聞第一號

摘華大意

凡草木ノ花アル者因テ以テ菓實ヲ結フ大概子然ラサル  
 至リテモ亦必ラ然ラサルヲ得ズ抑々一事一物ト雖ヒ  
 之ニ名稱ヲ下シ其終末ニ至テ結菓ヲ爲ス可キ者ハ必ラズ  
 之ニ先ンズルニ發華ヲ以テ爲ザル可ラズ而シテ其華タル  
 ヤ善アリ惡アリ美アリ醜アリ殆ント同一ナラズト雖ヒ之  
 ナ要スルニ毒氣ヲ含ンデ開發シ菓實却テ滋養ヲ醸結シ養  
 氣ヲ含テ開發シ菓實却テ毒害ヲ以テ熟成スル等蓋シ之レ  
 有ル可ラス然レヒ其ノ華嬋娟美麗ニシテ菓實却テ莢稗ニ  
 類似シ其ノ華極醜無雙ニシテ菓實却テ豊大ナル者アルヲ



知ラシヤ凡ソ物ニ觸レ感ニ隨テ各々其關係ヲ殊異ニシ發  
 華千種萬体ナレハ隨テ結果モ亦千種萬体ナル可シ豈數フ  
 ルニ勝フ可シヤ況ンヤ草木花卉ニ於テオヤ苟クモ之ヲ論  
 盡セント欲セハ惟レ日モ足ラサル可シ而シテ今マ敢テ要  
 スル所ニ非サルナリ且ツ之ヲ論辨スルニ至テハ二三歩ヲ  
 退却シテ植物學者ニ讓ラザルヲ得ズ  
 抑々前段ニ概陳シタル人間社會ノ發華千種萬体ニシテ其  
 結果モ亦隨テ千種萬体ナリト云ヘリ因テ少シク其趣意ヲ  
 論述セザルヲ得ズ彼ノ事實ニ至テハ小アリ大アリ預カシ  
 メ其大概ヲ區別シテ論ゼザルヲ得ズ而シテ其目ヲ二ト爲  
 ス曰ク獨自曰ク社會夫レ獨自ヲ以テ論スレハ勉強苦學生  
 ノ後來讀書先生ト爲リ懶惰放蕩生ノ終末身代限リノ食客

冗費生トナル竊盜巾着切ノ髡鉗徒刑生トナリ艶粧逞媚ノ  
 裡店先生ガ鬚の先生ノ權的先生トナル等其華ハ先ツ勉強  
 苦學ナル懶惰放蕩ナル竊盜巾着切ナル艶粧逞媚ナル等ニ  
 シテ其事實ハ讀書先生ナル食客冗費生ナル髡鉗徒刑生ト  
 ル權的先生ナルト云モ豈不可ナルコト有ルベカラズ其外首  
 縊リ身投ゲ井戸ハイリ淫奔等種々薩埵ナル者アリ必スヤ  
 之ガ前兆ヲ發示スヘシ然レモ是等ハ皆ナ小少獨自ノミ然  
 ラハ則チ人間社會ヲ以テ論セン乎各國各殊ニシテ其踪跡  
 ナ同フセスト雖モ之ヲ要スルニ獨自ノ事情ト敢テ其形勢  
 ナ異ニシ結實ヲ先ニシテ發華ヲ後ニスル等未ダ嘗テ見聞  
 セザル所ナリ請看ヨ彼プロテスタント宗ノ日耳曼國ニ勃  
 興スルヤ歐洲各國遂ニ紅血ノ流川ヲ穿チ英吉利ノ證券印

紙ハ亞米利加人民ノ敵愾ヲ百倍シ或ハ馬立吳山第一峯ノ  
諷詠ハ支那四百餘州ヲ併呑シ近來吾邦ニ於テハ尊王攘夷  
ガ幕府ヲ壓倒シ廟堂ノ不協ガ征台ノ役ヲ興シ江華灣ノ發  
炮ハ釜山開港ノ媒灼トナリ激論新聞ハ今日禁止トナル其  
端此處ニ發起シテ其効驗彼處ニ現出スルハ固ヨリ必然ノ  
勢ヒナレハナリ是レ因果ノ道理ニ基クニ非サレヒ其理殆  
ンド似タルガ如シ到底是等ノ理窟ヲ論述セハ三百六十日  
間咽喉ヲ痛メテ談話スルモ恐クハ竭盡ス可ラズ是亦今日  
必用トスル所ニ非サルナリ只今日必用トスル所ハ社号ニ  
題スルニ摘華ノ二字ヲ以テス故ニ花ノ何物タルヲ論ゼサ  
レハ摘スルニ其方向ヲ失ス可ク因テ聊カ花ノ何物タルヲ  
論辨シ兼テ弊社ノ目ニ見テ花トスル所ノ標幟ヲ掲載シテ

看官ニ其方向ヲ示スノミ故ニ一事ノ端緒ヲ現發シテ弊舍  
ノ眼目ニ觸過シテ花ト見ユル者ハ倉卒摘テ之ヲ筐ニ之ヲ  
筐ニシ齎シ歸リテ之ヲ紙上ニ陳列シ華容ノ善惡醜美ニ隨  
テ社員ノ品評ヲ下シ後來ノ結果ヲ論シ看官諸君ト之ヲ樂  
ント欲ス故ニ先ツ社号ニ冠スルニ摘華ノ二字ヲ以テス諸  
彦其レ之ヲ惠顧セヨ

此頃有名ナル尸位素餐〇〇先生ノ品行如何ヲ〇〇廳ニリ  
種々探偵セラル、由道路ニ傳聞セリ  
淺草榮久町寓最上熊夫曰ク此傳聞ハ虛實其蘊奧ヲ探リ  
得ルヲ能ワスト雖ヒ恐ラクハ虚ナラン抑々庶民不羈自  
由ノ權ハ天ノ賜與ニシテ在官並ニ貴族ヨリ混堂ノ三助

ニ至迄均シク有スル所ナリ故ニ朝ニハ柳橋ノ花ニ戯レ  
 タコハ芳街ノ月ニ醉ヒ或ハ權妻ノ手ヲ携ヘ馬車ヲ同フ  
 シテ(德ヲ好ム)色ヲ好ムガ如クスル者ヲ見ズト孔丘先  
 生ニ嫉妬サレルコモセヨ(東奔西馳スルト雖モ)上等社會  
 ノ人ハ兎モ角モ混堂ノ三助ハ彼ノ樂土ニ到ルヲ難カル  
 可シ(法官ハ勿論誰有リテ之レヲ抑制ス可キノ權アラン  
 ヤ)他人ヲ妨害スルコ非レハ(然レモ)尸位素餐トアレハ何  
 ナ目シタルカハ知ラザレモ吾輩ハ上等社會ノ人員ト想  
 像セリ而シテ上等社會ハ人才ノ淵藪ナレハ其純粹ナル  
 者ヲ探偵シテ下等蠢愚ノ吾輩共ヲ御支配ナサル官員様  
 ニ爲サルノ手モ知レマセシ  
 淺草田島町寓蒲本賢治曰ク最上君ノ想像ノ如ク上等社

會ノ御方コシテ士農工商ノ上座ニ位シ下ハ以テ四民ニ  
 對シ上ハ以テ政府ニ對シ其中央ニ在テ上下ニ對シテ議  
 務ヲ竭シナサル御方ナレバ必ラズ聲ハ律タリ身ハ度ヲ  
 準繩ヲ左ニシ規矩ヲ右ニシ行爲局正ニシテ苟モ一言  
 ナ發スレバ規律トナリ一行ヲ示セバ法度トナル實ニ有  
 リ難キ御方ニテ決シテ政府ヨリ其品行ナド御探索ハ無  
 キ筈ト自信シマス若シ此風說信ニシテ實ニ御探索遊ハ  
 サレタナラバ其品行ハ申ス迄モ無ク平生澤山祿モ御取  
 リ遊ハス故三圓ノ月俸ニ窮シテ質物杯ヲ典ブル様ナ  
 モナク十分修業モシ學術モ十分練達シテ才能モ亦十分  
 目ヲ驚ロカス程デ御坐リマシヤフ

道路ノ風説ニ彼ノ禁止セラレタル新聞社員等ノ動靜ヲ○  
○廳ヨリ各○ニ命シテ注意セラレ、由  
淺草榮久町寓野澤潔曰ク彼ノ禁止セラレタル新聞社員  
等ノ動靜ヲ注意セラレ、由街上ニ風説アリトコレ則チ  
齊東野人ノ語ナルヘシ過日內務省ノ御達ニ國安ヲ妨害  
スル者ハ之ヲ禁止ストアリ此令一タヒ出デシヨリ新聞  
記者ノ輩國安ノ兩字ニ着目シ喋々議論ヲ發スト聞ケリ  
又續テ彼ノ三舍ノ新聞紙發行ヲ禁止セラレタルト聞ケ  
リ予チ以テ之ヲ觀ルルハ國安ヲ害スルトハ貴賤上下ノ  
別ナク國一般人民ノ安寧ヲ妨グル者ヲ指シテ云フ  
ナルベシ稍モスレバ新聞記者等ハ針ノ如キヲ棒ノ如  
ク説キ出シ蟻封ノ如キヲ富岳ノ如ク書キ出ス是故ニ

無智ノ人民狐疑ヲ生ズルコト少ナカラスコレ微細ノ事ト  
雖モ安寧ヲ害スト云フヘキカ然カリト雖モ予ニ於テ了  
解セサル所ハ評論湖海草莽ノ三新聞ニ禁止セラレシ  
ナリ併シ退テ之ヲ考レハ恐クハコノ三新聞ニ有テハ蟻  
封ノ如キヲ富岳ノ如ク言ヒ倣シ針ノ如キヲ棒ノ如  
ク書キ出シタ様ナク多少アルナルヘシ又○○廳ニ於テ  
新聞社員ノ動靜ヲ注意セラレ、ノ所謂ナシ如何トナレ  
ハ新聞記者ノ如キ白面ノ書生輩何事ヲカ能ク爲シ得ヘ  
ケンヤ故ニ曰ク○○廳ニ於テ注意セラレ、トハ齊東野  
人ノ語ナルヘシト大方ノ君子以テ如何ト思ヘル  
淺草田島町寓蒲本賢治曰ク彼ノ禁止セラレタル新聞記  
者ハ何物ソ暗ニ國家ヲ顛覆シ三千餘萬ノ兄弟ヲ塗炭ニ

困阨セシノ彼等ノミ獨リ其利ヲ網羅セント欲スル手實ニ惡ムヘキノ至リ其罪天地間ニ容ル可カラス又反對シテ國家ノ爲ニ堂々タル議論ヲ發シテ人民獨立自主ノ氣慨ヲ興起セシメ一己ノ私利ヲ捨テ日本國中ノ公益ヲ企望スル者乎實ニ一般人民ノ爲ニ思仁無二ノ御方様ト申上奉リマス扱テ彼ノ記者先生方ハ此二件ノ内何レカ分リマセンガ○廳ヨリ其動靜ヲ注意セヨトアレハ大概○廳ノ御見込ニテハ彼等失職セシヨリ無職ニテ經濟ノ方向ニ窮シ若シ竊盜デモ爲スカト御疑ヒアルカ知レマセンガ決メテ吾輩共ハ彼ノ記者先生方ハ此様ナリハ有リマスマイト信仰致シマス其所以ハ彼ノ記者先生方カ平日ノ所論ハ實ニ御立派ニテ今ニ至テ假令イ饑餓シ

テ死スルコトハ有リマス其様ナ不名譽ノコトハマサカ致シマスマイ又發行ヲ禁止セラレシ上ハ別ニ罪ノ疑フ可キコトモ有ル氣遣ヒナシ到底吾輩ノ想像ニテハ記者先生方が先般ノ御禁止ニ畏服シテ是ヨリ益々堂々タル議論ヲ起シ人民ヲシテ獨立自主ノ氣慨ヲ奮興セシメ專ラ私利ヲ捨テ公益ヲ計ント欲スル乎ヲ御探偵遊ハサレテ若シ其様ナリテモ有レハ感心ノ存意ト思召サレ御褒賞ニテモ被下ナル可シ有吉志一曰ク横文字ノ泥醉漢ニモ實ニ困ツク者ヲ神州ノ神州タル所以ヲ知ラズシテ稍モスレハ政府ノ事ヲ誹謗シ惡口シテ夫レ見ヨ禁止セラレタ其レノミナラス其動靜迄モ注意サルト豈神州ノ大和魂アル人民タル者

是事ヲ愉快トセザランヤ政府ヲ誹謗スル者ハ朝敵同様  
ノ者ニテ昔シナラバ天誅ヲ通レサル者ナリ實ニ命ヲ冥  
加ナ僕ツタ

○開業ノ祝辭

這回ノ開業ヲ喜ンデ貧生叨リニ

一言ヲ發シテ奉賀ス

夫レ花ヲ摘ンデ以テ實ヲ採リ貧等同胞ノ愚夫愚婦ヲ教諭  
シテ宜シク民權ノ何物タルヲ擴充セシメ能ク邦家ヲ補佐  
シテ遠ク海外ニ國威ヲ輝シ併テ貴社ノ旺盛ナラノコトヲ期  
シテ待ツ

淺草森下町寓

濱松ノ貧生

紀元二千五百三十六年

第七月

參觀會閣下

口柄出繕目

弊舎微力ニシテ此ノ如キ廣大ノ祝辭ヲ賜リ實ニ其任ニ堪  
ヘザルヲ思ヒ恐懼シテ流汗背ニ浴シ然レモ厚意ニ隨テ敢  
テ竭サズンハアラズ若シ喜馬拉山上ノ一簣カ又ハ太平洋  
海ノ一滴トモナラバ酷タ幸甚

社主 金元玉潤

假編輯長 有吉志一

印刷人 竹内拙三



同	同	同	取次	同	同	賣捌	賣捌	印	本
同	同心齋橋通達備町	大坂木町四丁目	新潟縣下越後國頸城郡高田詩人町	同本所彌勒寺前	同元鳥越廿一番地	同淺草田島町三十四番地	同藥研堀町三十八番地	東京淺草榮久町三十五番地	
甲府八ヶ町壹丁目	岡島真七	大塚喜平	善鳴堂	共致社	平田幸三	報知社	參觀舍		
報知社支局									
內藤傳右衛門									

定價三錢

人